

地域おこしに新しい風を！

五区の夏祭りに矢板中央高生徒会が応援に

八月一日(土)五区内の
すずらん公園で開催された
夏祭りは今年で三回目を迎
えました。

区内には、矢板中央高校
があり、地域と中央高校と
の交流を図ろうと秋葉区長
が提案し、お手伝いをお願い
したところ、快く引き受け
てくれました。当日駆け付
けてくれた早川先生と生
徒会の七名の皆さんにお話
を伺いました。

●お祭りの印象は？

- ・すごく楽しかった。地域の皆さんと交流できたことがうれしかった。
- ・かき氷等の販売をお手伝いしたが、やり方を丁寧に、しかも優しく教えていただき、地域の力になれたことが良かった。

●お祭りでは何か気が付いたことは？

- ・お子さんが多かったので、小さい子ども向けの食べ物(綿菓子、たい焼きとか)や遊べるもの(ヨーヨー釣り、金魚すくいとか)があったら良いと思った。
- ・かき氷が早く無くなったので、もう少し多く用意するとか、シロップの

数も増やした方が良い
と思った。

- ・ピンゴゲームや竹トンボの色塗りとか、小さい子の目線で参加できるようなものも良いと思った。
- ・焼きトウモロコシよりも、フランクフルトの方がお子さんは喜ぶかも？



あま〜いアイスクリームはいかが…

←中央高生手作りのメニュー

飲み物	50円	円	円
アイスクリーム	50円	円	円
かき氷	50円	円	円
生ビール	300円	円	円
焼きたんこ	100円	円	円
焼きたんこ(特)	100円	円	円
焼きたんこ(特)	100円	円	円
焼きたんこ(特)	100円	円	円

●矢板市で何か印象に残ることは？

- ・リンゴがとてもおいしいし、ともないくんがとてもかわいい。
- ・通学している通りに閉まっているお店が多く残念。通学時間に人と会う機会が少ない。

↓大人気の焼きそば



●早川先生の感想は

学校ではできない交流ができて、生徒たちの明るく、楽しそうな笑顔が印象的でした。生徒が地域に迷惑をかけているのではないかと、毎月一回奉仕活動でゴミ拾いをしていいますが、今回もそのような気持ちもあって、お手伝いをしました。生徒たちはお手伝いした分だけ地域の子どもたちから、笑顔が帰ってきて、地域との交流の良さを体験でき、本当によかったです。

(T・H)

趣味で矢板を盛り上げる

銅線細工 比内誠一さん (66歳)

●銅線細工をどうして始めたのですか？

若い時一人だけの宿舎にいたので、仕事が終わってからの時間つぶしの方を考えた。ある時、故障した電気製品を分解し、銅線を取り出していじっている内に、これを細工したら何か面白いものが出来上がるのではないかと、思ったのがきっかけです。

●クラフトペーパーの花

二十年ほど前から始めました。最初は普通のゴミ箱サイズの花かごを作っていました。それだけでなく、もっと大きなものも二m以上のもので、上にも作りました。材料はカレンダー、雑誌、チラシ等いつでも簡単に手に入ります。暇があったら芯だけは作っておきます。



●ほかにも何か作られていますか？

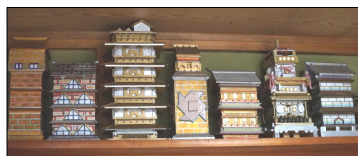
四、五年前からみこし型の貯金箱を作りました。材料は百円ショップで木片を購入し、自分の好みの形にしました。その後は、多重塔らしき形や外国の城壁のような形など、いろんな形があります。

●どんな考えで作っているのですか？

廃物利用、リサイクルです。私はいつも思うのですが、今は物質が豊富ですが、少しでもリサイクルできないかを常に考えています。私の作品のほとんどは再生品です。無駄な買い物をしなくてもいろんな作品ができることを多くの人に知ってもらいたいと思っています。

●私の作品を見たい方や自分で作ってみたい方はいつでも連絡ください。連絡先(48)1794

(T・M)



いろいろな形のカラクリ貯金箱